

JA全厚連情報

(毎月 1日 発行)

No.1113 2022 年 3 月 1 日

目 次

- 経営理論について体系的に研修
厚生連経営管理職層育成研修会（経営理論編）をWEB開催 1
- 医療体制が逼迫する大阪府に協力
JA厚生連から看護師を派遣 2

・通信員だより

- 令和 3 年度 地域医療多職種連携推進学講座（かづの厚生病院） 3
- 『災害に備える』ということ（湖東厚生病院） 4
- 第3 IVR室の竣工式およびテープカット式を開催（相模原協同病院） 5
- 院内感染予防対策の研修会を開催（相模原協同病院） 6
- ワクチン未接種者を対象に県内 10 カ所でJA巡回接種を実施（JA山梨厚生連） 7
- 新型コロナワクチン3回目接種の大規模集団接種会場が稼働しました（JA愛知厚生連） 9
- 身寄りがない人で意思決定が困難な人への支援に関する地域医療機関ガイドラインを
公開しました（江南厚生病院） 10
- NST・栄養ケアで活躍しています！（足助病院） 11



JA全厚連

全国厚生農業協同組合連合会

〒100-6827 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル

TEL (03) 3212-8000 FAX (03) 3212-8008

E-Mail: shien@JA-zenkoren.or.jp

(経営支援グループ)

<http://www.JA-zenkoren.or.jp>

編集責任者 中村 純誠

経営理論について体系的に研修

厚生連経営管理職層育成研修会（経営理論編）をWEB開催

本会は厚生連経営管理職層育成研修会（経営理論編）の1日目（1月24日）および2日目（2月14日）をWEBで開催した。

経営管理職層育成研修会は、日常業務では習得しづらい経営管理に必要な知識の習得とマネジメント能力の向上を図ることを目的に、病院・施設の運営および管理を将来担う予定者を対象に実施している。これまで財務・会計分野にかかる研修会（基礎編・応用編）を開催してきたが、厚生連全体を1つの組織として経営する職員を育成するために、新たに経営理論にかかる研修会（経営理論編）を開催することとし、15厚生連から33名が参加した。

研修会は、㈱経営革新ラボ代表取締役で経営コンサルタントの田村健二氏を講師に迎え、全3日間の日程で経営理念・ビジョン・経営戦略・経営計画・戦略実行の関係等について体系的に学ぶ。

1日目は、組織行動の基本と経営メカニズムをテーマに、①JA厚生連の特色、②組織とは、③組織の能力最大発揮の条件、④経営管理職の役割と行動—について研修を行った。また、事前課題として「経営管理職としての行動チェックシート」を各参加者は記入し、チェックシートにもとづきグループに分かれてディスカッションを行った。

2日目は、戦略構想の基本をテーマに、①戦略の概要、②戦略立案のポイント、③戦略立案の進め方—について研修を行い、ワークやディスカッションを交えながら、特に外部環境と内部環境の視点を掛け合わせるSWOT分析の考え方を中心に学んだ。

参加者からは「新たな気づきがあった」、「大きな枠組みでの考え方を学び、改めて自身の取り組む姿勢を認識できた」等の感想が寄せられた。

次回（経営理論編3日目）は、戦略・経営計画を実行するための組織づくりをテーマに、3月4日の開催を予定している。

医療体制が逼迫する大阪府に協力 JA厚生連から看護師を派遣

令和4年2月、新型コロナウイルスの感染者が増加し医療提供体制が逼迫している大阪府に対して看護師派遣の要請があり、JA全厚連では各厚生連に看護師派遣を募り、以下のとおり大阪府へ看護師を派遣しました。

大阪府への派遣

厚生連名	派遣人数 (実人数)	派遣期間
JA愛知厚生連	2名	① 2/21～3/6 ② 3/7～3/20
JA三重厚生連	2名	① 2/21～3/6 ② 3/7～3/20



◎よい食プロジェクト



令和3年度 地域医療多職種連携推進学講座

(JA秋田厚生連・かづの厚生病院)

かづの厚生病院（吉田雄樹病院長）では、毎年4回、岩手医科大学と地域医療多職種連携推進学講座を実施しています。各専門分野の認定看護師等をお招きし、講義していただいています。

今年度は、「新型コロナウイルス感染症対策について」「周術期看護について」「スキンテア（皮膚裂傷）から患者を守ろう」「認知症高齢者の理解と対応」についての4講義を行いました。この地域医療多職種連携推進学講座では、近隣の医療機関や関連施設等にもお声がけし、院内だけではなく外部からも沢山の方に足を運んでいただいています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実際に講師をお招きすることが難しくなり、オンラインでの開催が続いています。また、近隣の医療機関の方にも感染症対策を講じながら参加していただいています。岩手医科大学病院で勤務されている認定看護師の講義は特に外部からも積極的な参加をいただいています。みなさん、とても真剣な眼差しで講義を受けており、講義後の質疑応答では、専門知識がある方のノウハウを学ぼうとする活発な意見交換が行われるなど、今年度分の日程を無事に終えることが出来ました。

来年度はどんな講義が行われるのか楽しみです。新型コロナウイルス感染症が落ち着き、対面で講義を受けることが出来る日を楽しみにしたいと思います。



地域医療多職種連携推進学講座の様子

(三浦由佳通信員)

『災害に備える』ということ

(JA秋田厚生連・湖東厚生病院)

令和3年12月22日、湖東厚生病院（中鉢明彦病院長）では総合防災訓練を実施しました。今回は例年と趣向を変え、「夜間を想定した防災訓練」を行いました。特に夜間の時間帯は職員数が最小で6人まで限られてしまうため、「6人でどこまで動いて、どのくらいで避難完了できるか」を把握する必要性がありました。実際の訓練は平日の日中に行うため、看護師・医師・夜警から訓練に参加する6人を選び、その6人で防災訓練を行いました。訓練中は通常勤務している職員も大勢見守る中、所定の患者・看護師ともに避難所までたどり着くことができ、無事避難完了できました。

消防署の方からは、「避難完了まで時間はかかったが、スムーズに動いていたと思います。災害時の機器操作からもう一度確認していただきたいです。実際の災害時には、防災マニュアルも役に立たないので、普段から各々の役割を明確にし、病院で情報共有しながら、災害に強い病院を目指していただきたいです」との講評をいただきました。

訓練終了後、参加者からは「限られた人数のため、事前に行動等を確認していても戸惑う場面がありました。担送・護送患者が多く想定され、かなりの時間を要するので、安全な場所に患者を移送するだけで精一杯だと思われます。その他スタッフと避難経路等を改めて確認します」といった声が挙げられ、普段の訓練と違った雰囲気を感じることで、改めて防災訓練の大切さを実感しました。



総合防災訓練の様子

(三浦由佳通信員)

第3 I V R室の竣工式および テープカット式を開催

(J A神奈川県厚生連・相模原協同病院)

令和4年1月20日に、相模原協同病院（井關治和病院長）では第3 I V R室の竣工式およびテープカット式が行われました。

第3 I V R室の増設により、通常の予約検査・治療と並行して、緊急患者に対する I V R室での検査・治療が今まで以上に可能となります。また、今年度より循環器内科で本格的に開始した不整脈に対するアブレーション治療も、より多くの患者さまに治療が可能となります。



会場の様子



式の様子



第3IVR 室でのテープカット式の様子

(新嶋友梨恵通信員)

院内感染予防対策の研修会を開催

(J A神奈川県厚生連・相模原協同病院)

令和4年1月25日に、相模原協同病院（井關治和病院長）は派遣・委託業者を対象とした院内感染対策研修会を開催しました。

講師は当院 感染管理認定看護師 眞野 彩室長で、感染はどのようにして起こるのか、標準予防策、感染経路別予防策等の講義の後、防御具の正しい着脱、排泄物が床にあった場合の対処方法の実習を行いました。



防御具の着脱方法



排泄物の対処方法

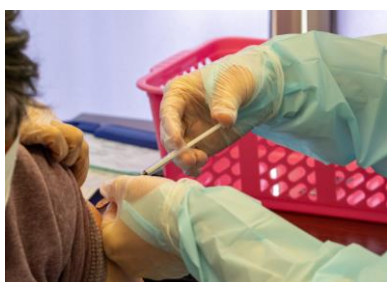
(新嶋友梨恵通信員)

ワクチン未接種者を対象に県内 10 カ所で JA巡回接種を実施

(JA山梨厚生連)

変異株オミクロン株による感染拡大が続く
中、山梨県内でも3回目のワクチン接種が始
まっています。その一方で、1回目や2回目の
ワクチン接種時期が農繁期と重なったことな
どを理由に、未だ1度も接種を受けていない
方も多くいらっしゃいます。

そこでJA山梨厚生連(澤井實・代表理事会
長)ではより多くの方々にワクチン接種を受けてもらうため、県および各JA
と連携し、2月2日から3月22日まで、県内のJ
Aを会場にした巡回型のワクチン接種「JA巡回接
種」を実施しました。



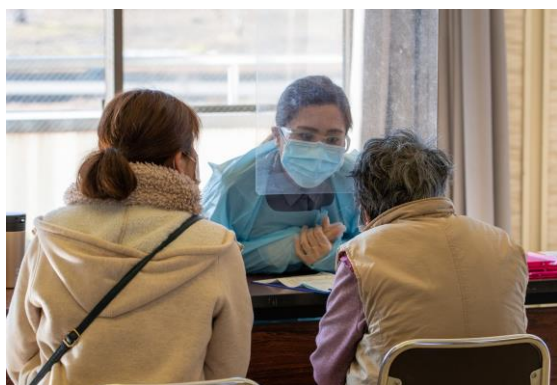
ワクチン接種の様子

会場には医師、保健師、看護師らを派遣した他、
万一の体調不良者などに備え、ベッドを搭載した検
診車を会場に配備しました。また定員は100名とし、
混雑を避けるため電話での予約制としました。

ワクチン接種は、重症化を防いで自分自身を守ることに加え、医療体制を圧
迫させないことに繋がります。厚生連では、3回目接種の実施や業務協力はも
とより、こうした活動に対しても積極的に協力していきます。



接種会場



受付の様子



ベッドを搭載した検診車を配備



県内のJAを会場にワクチン接種を実施します！



JA巡回接種

ご案内

対象者・使用ワクチン

- 県内在住の18歳以上で、
新型コロナワクチンを初めて接種される方
- 使用ワクチン：武田/モデルナ社製

- ✓ お近くのJAで
- ✓ 未接種者対象
- ✓ 簡単電話予約

接種日程・会場



内容や会場に関する詳細はこちらの二次元コード
または山梨県厚生連健康管理センターのホームページからご確認ください
<https://www.y-koseiren.jp/koseiren/3675>

1回目接種日	会場(各会場 定員100名)
2月2日(水)	JAふえふき 境川支所 (笛吹市境川町石橋2092)
2月3日(木)	JA梨北 長坂支店 (北杜市長坂町大八田3674)
2月4日(金)	JA山梨みらい 旧玉諸支店 (甲府市国玉町867)
2月7日(月)	JA南アルプス市 在家塚支所 (南アルプス市在家塚587-1)
2月9日(水)	JA山梨みらい 栄支店 (南部町内船4812)
2月14日(月)	JAフルーツ山梨 本所 (甲州市塩山上塩後1100)
2月15日(火)	JAクレイン 本店 (都留市田原1-2-3)
2月17日(木)	JA北富士 本所 (富士河口湖町船津3112-1)
2月18日(金)	JA山梨みらい 市川三郷事務所 (市川三郷町市川大門1801)
2月21日(月)	JA鳴沢村 本所 (鳴沢村711-4)



2回目以上の接種を実施します。
4週間以上の間隔を置いて、

2回目接種日
3月2日(水)
3月3日(木)
3月4日(金)
3月7日(月)
3月9日(水)
3月16日(水)
3月23日(水)
3月17日(木)
3月18日(金)
3月22日(火)

接種時間

午前9:00～11:00

※会場の混雑を避けるため、
予約の際にお時間をご案内します

持ち物

接種券・予診票・身分証明書
お薬手帳(服薬のある方)

ご予約・お問い合わせ

山梨県厚生連健康管理センター JA巡回接種予約ダイヤル

0120-28-5593 (9:00～16:00 土日祝日は除く)



ワクチンという武器で、
日常を取り戻そう。

接種前の疑問や接種後に副反応が出た場合はこちらにご相談ください
<山梨県新型コロナワクチン専門相談ダイヤル>
電話番号:055-223-8878 (9:00～24:00 土日祝日含む 0:00～9:00は音声案内)

山梨県・JAグループ山梨

JA 巡回接種ご案内

(志村直樹通信員)

新型コロナワクチン3回目接種の 大規模集団接種会場が稼働しました

(JA愛知厚生連)

JA愛知厚生連（宇野修二・代表理事理事長）では、愛知県から運営依頼があり、2月5日～7月31日まで大規模集団接種会場を再開しました。

前回同様、安城更生病院（度会正人病院長）にて、JA愛知厚生連の職員で運営します。

【接種会場の概要】

会場：

JA愛知厚生連
安城更生病院

対象者：

愛知県にお住まいの方
(接種券が届いた方)

使用するワクチン：

モデルナ社製ワクチン

接種日：

2022 年 2 月 5 日 (土)～
毎週土日

予約枠：

1 日 500 人

駐車場：

敷地内にあり

無料シャトルバス：

名鉄三河高浜駅から発着



1・2回目接種では、2021 年 7 月 3 日～11 月 6 日まで
述べ 30,317 回接種を行いました



大規模集団接種初日の様子

(井桁千聡通信員)

身寄りがない人で意思決定が困難な人への支援に関する地域医療機関ガイドラインを公開しました

(J A愛知厚生連・江南厚生病院)

江南厚生病院（河野彰夫病院長）では、周辺の医療機関 10 施設とつくる「病病連携会議」で、2021 年夏「身寄りがなく、意思決定が困難な人」の支援を目指す「地域医療機関ガイドライン」を作成しました。

治療への同意の取り方など、現場が対応に迷うケースを想定した足並みを揃えた取り組みで、令和 4 年 1 月 5 日に病院ホームページで公開しました。

<http://www.jaaikosei.or.jp/konan/pdf/chiikiiryouguidelines.pdf>



(井桁千聡通信員)

N S T ・ 栄 養 ケ ア で 活 躍 し て い ま す ！

（ J A 愛 知 厚 生 連 ・ 足 助 病 院 ）

令和 3 年 10 月、J A 愛 知 厚 生 連（宇 野 修 二 ・ 代 表 理 事 理 事 長）で は、初 と な る「機 能 強 化 型 認 定 栄 養 ケ ア ・ ス テ ー シ ョ ン」の 認 定 を 受 け ま し た。

また、11 月 20 日 に は 管 理 栄 養 士 の 川 瀬 文 哉 さ ん が 愛 知 N S T 研 究 会 で 最 優 秀 演 題 賞 で あ る「Aichi Nst Award」を 受 賞 す る な ど、栄 養 管 理 室 が 多 方 面 で 活 躍 し て い ま す。



最優秀演題賞「Aichi Nst Award」を受賞した管理栄養士の川瀬文哉さん
「研究にご協力いただいた皆様に感謝いたします！」

（井桁千聡通信員）